

# 7. シーズ名：「アルキル誘導体製造方法」

## 利用シーン（展開可能分野、事業領域、応用例、保有技術）

【応用例】健康食品、医薬品

特許番号：5873318

【事業領域】飲食品製造業 医薬品製造業

【保有技術】医薬品製造技術、化学合成技術、精製技術

## 発明の内容 （技術的視点）

従来、不活性ガスを充填した反応容器中、室温という低い温度で20時間以上という長時間をかけて反応を行う必要があったが、ポリフェノールに酢酸塩とハロゲン化アルキルを作用させることで、大気雰囲気下にて、100℃の反応温度で10時間で合成できる

## 発明の効果 （新規性・優位性）

この方法でこれまで提供できなかった強力な生理活性を有するポリフェノールのアルキル誘導体が合成できる  
但し、合成物の毒性試験、食経験はなく、当社において食品への使用実績はない